



## イタリアの中の異国

バチカン市国は世界で最も小さな国です。言うまでもなくローマの中にあります。サンピエトロ寺院、バチカン美術館、システィーナ礼拝堂などを有し、国全体が世界遺産登録されているこの国はあまりにも有名で、ここを訪れたことがある人も多いかもしれません。それとはある意味対照的なもう一つの国。ここではイタリアの中にあるもう一つの異国、サンマリノについて書きたいと思います。

サンマリノはイタリア中央部、アドリア海を望む位置、ティターノ山の頂にあります。そこからの景色は素晴らしく、晴れた日にはアドリア海を一望できます。ユネスコはサンマリノを「世界で最も古い共和国の一つで、唯一生き残っているイタリアの中にある都市国家」と評していますが、サンマリノが位置する切り立った山を見ると、なぜ現代まで生き残ることができたのかがすぐに理解できます。さらに、そこにそびえる3つの城塞。まさに難攻不落。

サンマリノは西暦301年に建国されたとされており、世界で最も古い共和国の一つで

す。その歴史は1700年以上にも及び、非常に長い歴史を持っています。街を歩いていくと、歴史的な建物が立ち並び、狭い路地を抜けると突然広場が現れます。まるで中世の町並みを歩いているような錯覚に陥ります。サンマリノの街にはその歴史が今も色濃く残されています。そして何より、サンマリノの人々の誇り高い精神がそこにはあります。この小さな国が長年にわたって独立を維持し続けてきたことへの自負と伝統的な価値観を大切にする姿勢が随所に感じられます。街全体にのんびりした雰囲気もあり、人々は穏やかでとても優しいです。

サンマリノの面積は約61平方キロメートルと非常に小さく、人口も約34,000人ほどです。サンマリノはイタリアに完全に囲まれた内陸国ですが、独自の風土、文化、伝統を持っています。

イタリアとの関係についていえば、サンマリノはもちろんイタリアの一部ではなく、完全に独立した国家です。とはいえ、地理的にも歴史的にもイタリアとの関係は深く、経済





的にもイタリアに大きく依存しており、外交や安全保障の面でもイタリアと密接に協力しています。そのため、サンマリノとイタリアには多くの共通点があることがわかります。言語はイタリア語、通貨はユーロ、食文化も非常に似通っています。両国とも地中海性気候に属し、オリーブやブドウなどの地場産物が豊富です。サンマリノでも、ピザやパスタなどのイタリア料理が主流を占めています。したがって、日本人的感觉で言えば、イタリアからサンマリノに行くことは、別の国というよりも別の都道府県に行くような感じです。

一方で、サンマリノは独自の法制度や政治体制を持っており、自国の主権を守ることに注力しています。サンマリノの独自性を象徴するのが二人の執政（元首）です。古代ローマの執政官に由来するといわれる二頭政治。任期は僅か6ヶ月です。

日本との関係についていえば、近年では、東日本大震災の犠牲者の方々の慰霊と日本との友好のために建立されたサンマリノ神社が話題になりました。ヨーロッパ初の唯一の本格的な神社です。日本に帰国しなくても初詣ができるようになったのは有難いことです。

サンマリノは多くの点でイタリアに依存しつつも、政治的に安定しており、日本との文化交流も活発に行っています。サンマリノの事例は、小国が大国に囲まれながらも自国の特性を維持していく方法を示唆しているようです。



ちなみに、サンマリノは独自の切手を発行しており、切手収集家の間で人気が高いそうです。コレクターズアイテムとして高値で取引されることもあるとかないとか。

このようなサンマリノへはアドリア海に面した街、リミニからバスで行くことができます。映画好きな人であれば、リミニといえばイタリアの映画監督フェデリコ・フェリーニを思い浮かべるかもしれません。ここは夏のバカンス地としても有名で、イタリアのみならず、他のヨーロッパ諸国からも多くの人を訪れます。関西人的感覚で言えば、リミニの海はどことなく須磨の海に似ています。リミニにはローマ帝国の初代皇帝アウグストゥスの凱旋門や2代目皇帝ティベリウスの橋など、古代ローマ好きにはたまらない遺跡もありますので、そちらもお見逃しなく。

### 著者紹介



**宮垣 文晴**  
(みやがき たけはる)

日本弁理士、欧州特許弁理士。  
2015年に新樹グローバル・アイビーに入所。2016年よりポーロニャ在住。  
2004年に知財分野のキャリアをスタート。機械、電気電子、ソフトウェア分野の特許出願及び中間処理、クリアランス調査、無効資料調査、鑑定等を担当。  
立命館大学大学院修了。専門はロボット工学。

unitedgips.com

